



国際交流バスツアー 2023.11.19 奈良公園

地域とつながる国際交流 吉野川市国際交流協会

Connecting Regions through International Exchange



毎年3月に発行している吉野川市国際交流協会の機関誌「国際交流よしのがわ」も第20号を迎えました。表紙には国際交流バスツアーの集合写真を掲載しています。訪問先を振り返ってみると、岡山城、金閣寺、倉敷美観地区、大阪城、奈良公園、姫路城、広島平和公園、松山城、神戸森林植物園、鳴門ウチノ海総合公園、金比羅山、四国水族館などです。日本語教室で学んでいる技能実習生や地域在住の外国人に日本の文化に触れてもらうとともに、学習者や会員との交流を楽しんでもらうのが目的で、毎年秋に実施しています。日本語教室では、日本語学習のほかに、阿波踊りや俳句・書道ワークショップ、浴衣着物着付け、もちつき大会など多彩なイベントを行っており、近隣の街からも学習者が集まっています。山川教室を開講したことで、地域の受講者が学びやすくなりました。3年前から吉野川市山川支所で日本語スピーチ・コンテストを開催し、余興で民族舞踏を披露するなど盛り上がっています。徳島県日本語弁論大会にも毎年出場して、上位入賞者を出しています。鳴門教育大学や愛媛大学、大阪経済法科大学などの日

本語指導者の視察も増えました。これもひとえに毎週日曜日にボランティアで指導していただいている講師の皆様のご尽力の賜物と感謝しています。

コロナも収束してきましたので、感染に配慮しながら市民向けの講座やイベントも企画しています。英語圏の外国人の講座としてグローバルセミナーを始めました。海外視察などの報告をする国際理解講座や国際交流クッキングも再開しました。日本にいながら世界を旅したり、世界の料理を楽しむ講座を開催していきたいと思ひます。

2024年1月末の市内在住外国人の人数が500人を超え、昨年から100人も増えました。これは、コロナが収束したことや、これまでの外国人技能実習制度が廃止され、人材確保と人材育成を目的とした新たな制度が創設されることが背景にあります。我が国の人手不足が深刻化する中、外国人が日本経済社会の担い手となって外国人との共生社会の実現が求められる時代が到来し、今まで以上に国際交流協会が地域に果たす役割は大きくなっています。さらなる市民の皆様のご支援とご協力をよろしくお願ひします。

吉野川市の外国人登録数(2024年1月31日現在):ベトナム129人、中国124人、インドネシア82人、フィリピン46人、カンボジア25人、ミャンマー22人、パキスタン14人、米国12人、韓国8人、タイ8人、スリランカ7人、ネパール6人、英国4人、カナダ4人、インド3人、ハンガリー3人、モンゴル2人、台湾2人、ルーマニア2人、ロシア2人、ブラジル、ドイツ、ニュージーランド、ウクライナ各1人 24か国 合計509人

《特集》 地域とつながる交流活動

《Special Topic》 Connecting Regions through Exchange activities

◆YIA阿波踊り国際交流連

YIA Awa Dance Team

大塚 貴司

Otsuka Takashi

2023年の吉野川市阿波踊り大会は諸事情により中止になりましたが、8月16日に一夜限りの鴨島阿波踊り実行委員主催の阿波踊りが開催され、原井市長、市役所連、FC徳島の皆さんと一緒に国際交流連も参加しました。鴨島の阿波踊りは4年ぶり、国際交流連としては5年ぶりの参加でした。阿波踊りは初めてという受講生もいたため、文化研修センターで少し練習してから阿波踊りに参加しました。当日は仕事の受講生が多いため少人数でしたが、みんな楽しく踊っていました。



20日は鴨島駅前のイベント広場で開催中のまちかどコンサートに国際交流連が阿波踊りで参加しました。四国大学から元木先生とベトナムからの留学生も参加し、計20人がぶきっちょ連のお囃子でみんな暑い中楽しく踊っていました。阿波踊りが終わった後、徳島を拠点に活動しているHAPIKAさんのステージにベトナム人男子が飛び入り参加してダンスを披露し、イベントを盛り上げてくれました。その後クールダウンを兼ねて懇親会をしてお互い自己紹介や雑談をして解散しました。来年も開催予定ならぜひ参加したいです。



◆ブドウ狩り

Grape Picking

平田 仁子

Hirata Kimiko

9月3日山川ぶどう園で日本語教室の生徒・講師生徒の友人・YIAの会員等、総勢32人がブドウ狩りを楽しみました。

今年は例年よりも気温が高く雨も多かったのですが、とても大きくて甘いぶどうがたくさん実ったそうです。

まず、袋に入ったぶどうをさわって品定めし、つるを切ったぶどうの房を冷たい氷の入った桶の中に入れて味わいました。

とても甘くておいしかったので、2～3房をぺろりと食べてしまう人もいたほどでした。

昼間は気温がとても高かったのですが、ぶどうのつるの下には涼しい風が吹いてみなさんリラックスした気分です。異文化交流を楽しみながら有意義な一日を過ごしました。



◆川島高校Summer Challenge授業

Summer Challenge Class at Kawashima High School

羽山 知恵子

Hayama Chieko

吉野川市国際交流会は、活動の一環として市内在住の外国人と若い世代の中高校生等との交流を行い、次世代を担う若者の国際感覚を養う取り組みを進めています。今年度8月17日に行われた川島高校のSummer Challengeに参画しました。高校生10人と先生数人、原田食品で働く外国人4人（エラさん、デアさん、張さん、李さん）とYIAから5人が参加しました。

最初に外国人4人とYIAメンバーの自己紹介があり、次に萩森副会長が「外国人労働者受け入れ制度とYIAの活動紹介」と題して講演しました。引き続き4つのグループに分かれて話し合いました。エラさんのグループでは、自己紹介に始まりエラさんがインドネシア・スマトラ島全体の事や世界一美味しい肉料理「レンダン」を紹介し、趣味は動画、アニメ、音楽等と話しました。高校生からは、なぜ日本に、そして吉野川市に住んでいるのか？等々の質問を発端に、みんな若い世代同士で好きな音楽やアニメ、行きたい国々、将来への希望等を話し合い、意義深い異文化交流会となりました。

高校3年生の2人は、山川日本語教室を参観して外国人の皆さんとさらに交流したいと希望するなど、高校生のひたむきさと外国人の熱意により次への新たなビジョンへと繋がるSummer Challengeとなりました。



◆国際交流バスツアーに参加して

Exchange Bus Tour

川村 雅子

Kawamura Masako

11月19日秋晴れの早朝、国際交流バスツアー一行は奈良へ向かって出発しました。残念ながら数人が急な体調不良等で参加できなくなったものの、総勢65人の大所帯となりました。

奈良へ向かうバスの車内はにぎやかで、顔見知りではない方もたくさんいましたが、その場の楽しい雰囲気のおかげで初対面の人とも会話が弾みました。そうこうするうちに、バスの後方からギターの音が聞こえてきて、車内は音楽や歌声でいっそうにぎやかになりました。

さていよいよ、バスが東大寺近くの駐車場に停車し、一行がバスから降り立つと、たくさんのバスと観光客、五重塔が目飛び込んできました。気分は最高潮です！最初はみんなで一緒に東大寺を拝観する予定でしたが、徒歩で移動する間にいつの間にかばらけてしまい、入堂できなかった人がいたのもやむを得ないほどの人口密度でした。それに加えて、モミジの紅葉、イチヨウの黄葉が寺社仏閣に映えて美しく、鹿は可愛らしくお辞儀をしてくれ、どこを見ても一旦立ち止まらずにはいられません。観光客がひしめく石畳の上を、私も一人のおのぼりさんになってあちこちの店や風景に目を奪われながら歩きました。途中たまたま山川日本語教室の中国人の技能実習生のグループに出会ったので、そこからは一緒に観光やショッピングを楽しみました。

帰りのバスは、往路ではにぎやかだった車内が嘘のようにしーんとしていました。ほとんどの人が眠っていたのです。みんな張り切って、あちこち歩いて疲れたんだろうな、と思うと自然とニコニコしてきました。

実は私、数十年ぶりの奈良旅行にワクワクする一方、引率する立場として「ツアーをとどこおりなく終えることができるだろうか」とドキドキしていたのですが、結果としては東大寺までの徒歩移動中に数人ばらけてしまったほかは、おおむね問題なくツアーを終えることができたことに本当にほっとしました。

また来年のツアーも一緒に楽しみましょう！



◆楽しかった奈良バスツアー

Enjoyable Bus Tour to Nara

プラディーブさん（日本語教室、ネパール出身）

Sunar Pradeep

11月19日に日本語を勉強している外国人と先生たちとバスで奈良に行きました。全部で65人で2台のバス

に乗り、鴨島駅を7時半に出て11時ごろに奈良公園で降りました。それから東大寺の中の大仏殿を見に行きました。大仏様の大きい像があり、高さは15mぐらいでした。そのあと公園に座ってご飯を食べ、いろいろな所を散歩したり、写真をとったり、鹿に食べ物をあげたり、もみじを見たりしました。公園にたくさん鹿がいます。楽しいことは、食べ物をあげるときお礼したら鹿もお礼します。バスが止まっている場所に15時半にみんな集まって奈良公園を出ました。7時ごろに鴨島駅に着き、自転車でアパートへ帰りました。奈良公園は本当にきれいで、広いです。有名なお寺があり、たくさん鹿もいます。本当に楽しかったです。



プラディーブさん(右)淡路SAにて

◆浴衣・着物着付け体験

Experiencing Yukata & Kimono

安部 正美

Abe Masami

10月8日に浴衣・着物着付け体験を実施しました。今回も小川和美さん・渡部真弓さんのご厚意により、打掛・羽織袴と今回はウェディングドレスまでご用意いただき豪華絢爛で会場はまるで貸衣装屋さんようでした。参加者は並べられたドレスに目を輝かせ次々に着替えとても素敵に着こなしていました。浴衣の着付けでは、萩森副会長が用意したくじを16人の受講生が引き、順番に自分の選んだ浴衣に着替えその上に打掛を羽織り、とても素敵な装いになりました。また、羽織袴に3人が挑戦しました。アトラクションとして渡部真弓さんが袴姿で日舞を披露されました。その後は思い思いのポーズで写真撮影していました。初めての体験に受講生の皆さんは大喜びでした。この体験がいつまでもいい思い出になればうれしいです。

また、今回、上板町の福原縫製の実習生が代表者と初めて参加し、和服姿の実習生と楽しく話をしていたのが印象的でした。吉野川市国際交流協会との輪が広がればいいですね。



日本語教室・2023年度の活動報告 Activities of Japanese Classes in 2023

萩森 健治
Hagimori Kenji

日本語教室は1992年10月に開講し今年32年目を迎えました。現在は毎週日曜日に山川教室（山川公民館）と鴨島教室（文化研修センター）の2箇所で開催しています。学習者の多くは、市内や近隣市町で技能実習や特定技能として働く外国人です。ベトナム、インドネシア、中国、フィリピン、カンボジア、ミャンマー、ネパール、タイ、カナダ、アフガニスタンの10か国で登録者総数は70人です。年齢は20～40歳代で約3/4は女性です。ボランティア講師は両教室合わせて12人（女性7人、男性5人）で30歳～70歳代です。

教室では学習者をグループ分けし「みんなの日本語初級Ⅰ、Ⅱ」などのテキストを使って、会話、文型、日本語能力試験（JLPT）対策などの指導を行っています。

また、学習意欲を高めるため徳島県日本語弁論大会への出場を奨励しています。2018年にベトナム人実習生が初めて出場し2023年まで6年間連続で合計10人出場しています。また2021年から日本語スピーチコンテストを開催しています。教室では最多出席者を表彰しており、毎回表彰される熱心な受講生もいます。

講師の研修では、国際交流協会などが主催する日本語指導スキルアップ講座などの研修会への参加、愛媛大学、東京大学、大阪経済法科大学、鳥取大学で日本語教育を専門とする先生による視察・指導を受けました。

また、地域住民との交流を図るため機関誌に記載のように様々なイベントを開催しました。

日本語教室は、学習を通じて「言葉の壁」を解消し、地域住民との交流を通じて「心の壁」を解消する場となるよう頑張りたいと思います。どなたでも参加できますので気軽に遊びに来てください。

鴨島教室：コロナ禍以前は、毎回15～20人ものベトナム人が出席していましたが、最近は出席者が大幅に減少しました。技能実習期間が終了して帰国、特定技能の介護職に移行して他府県に移動、仕事のため教室に参加できないことなどが原因です。最近の出席者数は4～8人で、フィリピン出身の兄弟、カナダから一時滞在中の女学生、ネパール出身のエンジニアが熱心に来校しています。彼らは英語が得意で、井口講師が英語と日本語の半々で楽しく指導しています。阿波市から自転車で40分かけて来校する実習生もいます。講師の井口さん、大塚さん、萩森、那賀町から来る高田さん、時々来校する一井さん、真鍋さん、岩谷さんとアットホームな雰囲気です。



山川教室：山川教室は2020年6月に新規に開校して3年半になり教室は順調に推移しています。教室の近くに原田食品という食品会社や、佐藤化学、白山衣料などの縫製会社があり技能実習生や特定技能生の学習者ら7～13人が定期的に出席しています。とくに原田食品の皆さんは熱心に勉強しており、張さんはN2を取得し中国出身の初級学習者に日本語を教えています。講師の細谷さん、平田さん、三原さん、今関さん、川村さんの5人がグループに分かれてきめ細かく指導しています。



◆吉野川市日本語スピーチコンテスト2023 YIA Japanese Speech Contest in 2023

平田 仁子
Hirata Kimiko

7月16日、吉野川市、阿波市の日本語教室の学習者による日本語スピーチコンテストが行われ、約50人が参加しました。発表者とタイトルは次の通りでした。

発表者	所属企業	タイトル	
橋 悠希 (チヨウ ユウキ)中国	原田食品	私の生き方が変わった一言	
幸 寧 (コトネ)中国	原田食品	日本に来て不思議に思うこと	
フラディア フロリ (フラディア フロリ)インドネシア	原田食品	家族って何だろう？	
フメラ フロリアディ (フメラ フロリアディ)インドネシア	原田食品	怖いというイメージを持つのはなぜ？	
チャン ティ トゥヒエン (チャン ティ トゥヒエン)ベトナム	鴨島病院	ひとの笑顔を見ると幸せ 日本で介護の仕事が続けたい	
アリス セブティ アフン (アリス セブティ アフン)インドネシア	水島プレス工業 (新渡戸)	熱くなる熱	

6分以内の発表でしたが、皆さん仕事をしながら、一生懸命練習を重ね、素晴らしい発表内容でした。審査員は、真鍋憲昭さん、藤本功男さん、瀬尾規子さん、岩谷奈緒さんの4人が担当され、スピーチの内容、日本語力、表現力について審査しました。結果は、

- どの発表者も努力の跡がよく見られ素晴らしいスピーチだった。
 - 発表の内容がよく工夫されていて、日本語の発音も正確で、とてもわかりやすかった。
 - 顔の表情、手や体全体を使ったジェスチャーなど、豊かな表現力で、訴える力があつた。
 - 日本人が気付かないことを外国人の視点で教えてくれた。
- などの講評をいただき、絶賛されました。

また、発表の後、アトラクションがあり、ナナさん、エラさん、ディアさん、アミさんの4人がインドネシアの各出身地の伝統の踊りを披露。参加者の皆さんも素晴らしいダンスに心を惹きつけられました。



◆徳島県日本語弁論大会

Japanese Speech Contest by Tokushima Prefecture

川村 雅子

Kawamura Masako

7月23日、日本語弁論大会を聴きに行きました。演者は、留学生や技能実習生として来日している方々です。在日期間は数か月から数年と幅があり、内容もコミカルなものからシリアスなものまで様々でした。どなたの発表もよく練られた内容で非常に聴きごたえがありました。YIAから、ナナさん、エラさん、トウヒエンさん、セプティ君が出場しました。

考えさせられることはたくさんありましたが、特に強く感じたことは、「どの人も自分の置かれた状況の中で、周囲の人を観察したり、ぶつかったり、理解しようとしながら、自分のあり方を試行錯誤されているんだな。その自分の思いや周囲へのメッセージをこうして発信してくれているんだな」ということでした。彼らの声を受けとめて、これからの自分の行動に反映したい、という受け止める側の思いを持つ一方で、彼らと同じ立場として、「私はどんなふうに周囲とかかわって、どんなことを周りに伝えているのだろうか?」と考えさせられました。慣れた環境で過ごすうちに鈍っていた感覚が、異文化で暮らす彼らの話を聞いて再び研ぎ澄まされたように思います。今回、普段の自分を見直す貴重な機会を得たことに感謝します。来日された皆さんの毎日が、実りあるものでありますように。



◆初めての俳句・書道体験

First Experience of Haiku & Calligraphy

萩森 健治

Hagimori Kenji

残暑厳しい9月17日午後、鴨島公民館で「俳句・書道ワークショップ」を開催し、日本語教室の受講生などが初めて俳句・書道を体験しました。

俳句講師は上窪青樹さんと則子さん夫妻、書道講師は吉野美苑さんでした。参加したのは、ベトナム、インドネシア、ネパール、中国出身の受講生13人、講師とYIA会員など13人、計26人でした。

最初に、上窪先生から俳句とはどんなものかについて説明があり、テーマの選び方、秋の季語のいくつかの事例、俳句の作り方など易しく



指導して頂きました。そのあと、受講生らは講師やYIA会員の指導を受けながら、俳句作りに取り組みました。最初は、困ったような表情で四苦八苦していましたが、講師の的確なアドバイスを受けてから、楽しそうに俳句を作っていました。出来上ったら吉野先生の書のお手本を見て半紙に墨で書く練習。皆さん初めてとは思えないほど上手。そして竹から作られた和紙の色紙に清書。清書した作品は前のボードに展示され、上窪先生がそれぞれの作品の講評をされました。



外国人受講生にとって初めての体験でしたが、自分の気持ちを素直に表現した個性豊かな俳句が完成しました。また、書道の腕前もなかなかのものでした。皆さんの作品は10月に鴨島公民館で展示されました。



地域国際交流 Regional International Exchange Activities

ランタンフェスティバル Lantern Festival

大塚 貴司
Otsuka Takashi

アジアフードフェスティバルランタンが12月16日に鴨島駅前イベント広場で開催されました。朝早くから萬川夫妻とお手伝いに来ているベトナム人が、寒くて小雨の降る中ランタンの飾り付けをしていました。イベントが始まる頃には雨も上がりましたが、とても寒かったです。日が暮れるとランタンの灯りがめっちゃ綺麗で、みんな写真撮影していました。YIA国際交流協会からも三木ハンさんがバインセオの店を出店して、次から次へとお客さんが来て作るのが大変そうでした。ベトナムの生春巻きの体験では、沢山参加者が集まって瀬尾さん

も体験していました。またその他にも、ベトナム、台湾、韓国、中国、インドネシア、パキスタンの屋台もあり、どの店も大盛況でした。終了時間前にはほぼ完売でした。終了して、ランタン屋台の撤収にもベトナム人が数人お手伝いに来っていました。朝早くからの準備、最後の片付けご苦労様でした。吉野川市、鴨島町を盛り上げるイベントを来年も開催してほしいと思います。



もちつき大会 Rice cake pounding Party

岡田 晋
Okada Susumu

1月14日午前8時から、西麻植青年会館主催による「もちつき大会」がありました。西麻植婦人会、ほたるクラブ、吉野川市国際交流協会が共催しPTA協力のもと実施しました。日本語教室で学んでいるベトナム、インドネシア、中国、フィリピン、ネパール、カンボジア、カナダの実習生など21人の外国人とYIA会員14人、TOPIAから長田さんも参加しました。早朝は厳しい寒さでしたが、晴天に恵まれ、風もなく穏やかな天候の中、もちつき大会が始まりました。もちを蒸す人、もちをつく人、もちを丸める人、ぜんざいの準備をする人などそれぞれに役割分担



ができていて、手際よく作業が進みました。

実習生はもちつきやもちを丸める作業にチャレンジしました。地域の人たちと交流しながら楽しく作業をしました。空き時間にはカルタや福笑いのゲームをして日本のお正月の文化も体験し、青年会館の皆さんに作っていただいた、ぜんざいを美味しくいただき、11時過ぎに行事を終えました。「もちつき大会」への参加は、今回で6回目を迎え、1月の恒例行事として定着しています。ご多用の中、ご協力をいただいた関係者の皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。



山川日本語教室クッキング交流会 Cooking exchange meeting at Yamakawa Japanese Class

三原 敦子
Mihara Atsuko

2月25日山川公民館調理室にて日本語教室に通う人たちによるクッキング交流会が開かれました。参加人数は26人。内訳は日本人15人、カンボジア人2人、インドネシア人4人、ベトナム人2人、中国人2人、ネパール人1人です。そして9時からクッキングに取り掛かりましたが、実習生の人たちが持ってきた食材の豊かさやそれを料理する手際の良さに目を見張るばかりでした。しばらくするといい匂いが漂い始め、11時ごろに完成しました。メニューを簡単に説明すると、カンボジアはスナオチュル（鶏肉スープ）中国は前日から準備しておいてくれた鶏肉ミンチ水餃子、ベトナムはソイ（もち米とまめの蒸しご飯）、goi thit ga（豆や蒸し鶏のサラダ）揚げ春巻き、インドネシアはsoto ayam

（鶏スープ）perkedel kentang（コロッケ）。少し私の表記が怪しいのですが、皆さんもまた検索をして作ってみてくださいね。立食パーティーになりましたが、初顔合わせの人たちも深みのある優しい味を次々と堪能し、笑顔で会話も弾んでいました。食後には今関さんが前日から用意してくれたコーヒゼリー、漬物、ぜんざいを頂き大満足の3時間でした。最後に3月から他県に移ることになった実習生のお別れ会にもなり、みんなへの感謝の言葉をもらい、思い出に残るクッキングとなりました。



グローバルセミナー Global Seminar

瀬尾 規子
Seo Noriko

今年度、新たな企画として「世界を旅するグローバルセミナー」を開催しました。第1回は「イギリスあれこれ」と題して、鴨島町在住のトランさんに講演していただきました。トランさんは、香港で生まれ、マンチェスターで育ちました。両親はベトナム出身ですが、家族はみんなイギリスに住んでいます。イギリスの歴史・観光・文化・王室などについて、スライドで紹介していただきました。「香港で生まれて、どうしてイギリスに移住したのですか?」という質問に、「香港がイギリス領だったのですが中国に返還されることになり、両親は今がイギリスへの移住のチャンス!ということでイギリスに移住しました」と答えました。また、両親はベトナムで貧しく、勉強が十分できなかったため、イギリスで学びたいというのも移住の理由だったそうです。

第2回は、ALTのロビンさんに「フロリダあれこれ」というタイトルで講演していただきました。ロビンさんは、父親の仕事の関係で1歳～3歳の時に沖縄で、中学校の時には長野県松本市に住んだことがあります。フロリダには5歳の時から住んでいます。ホームタウンはTarpon Springで、



トランさん(前列中央)

スポンジの生産で有名です。ギリシャ人がスポンジを海に採取しに来たので、ギリシャ文化が根付いているそうです。南フロリダ大学出身で世界言語と文化を専攻し、日本語はポケットモンスターや「集まれどうぶつの森」などのゲームやアニメを活用して学びました。

第3回は、ALTのサマンサさんに「コロラドあれこれ」というタイトルで講演していただきました。コロラドはアフリカのサバンナのような草原があり、コロヨーテ、マウンティンライオン、ブラックベア、エルク(シカ)、プレリドッグなどの動物が住んでいます。コロラドはアメリカの中央に位置しており、デンバー空港はトランジットとして利用されています。ビールやメキシカンフードがポピュラーです。コロラド州には標高1,000mを超える街があるので、スポーツ選手が高地トレーニングをしています。ロッククライミングやラフティングなどのアウトドアスポーツが盛んです。サマンサさんは関西学院大学に留学して日本語を学び、日本の食べ物が大好きで、日本の伝統的な文化や音楽、ファッションに関心があるそうです。

定期的
に開催して
いきたいと
思いますの
で、皆様
のご参加
をお待ち
しています。



サマンサさん(左から5人目)

吉野川市のALTの紹介

Introduction of ALTs (Assistant Language Teacher)

瀬尾 規子
Seo Noriko

①勤務校 ②出身 ③専攻 ④趣味

Samantha Ross (サマンサさん)

- ① 鴨島小学校、西麻植小学校、飯尾敷地小学校
- ② デンバー(US コロラド州)
- ③ 人類学
- ④ 写真、料理



Robin E.Kelly (ロビンさん)

- ① 鴨島東中学校、森山小学校、牛島小学校
- ② ターボン・スプリング(US フロリダ州)
- ③ 世界言語と文化
- ④ 絵画、音楽鑑賞、写真



Alexandora Morris Danielle (アレックスさん)

- ① 川島中学校、川島小学校、学島小学校
- ② ジャクソンビル(US フロリダ州)
- ③ 中国語とスペイン語
- ④ 絵画、お菓子作り



Nagaji Dexter (デクスさん)

- ① 鴨島第一中学校、知恵島小学校
- ② ハワイ州(US)
- ③ 日本語
- ④ 歌うこと、音楽を聴くこと。ゲームや映画を見ること。




Gbonda Mohamed Kamajor (ボンダさん)

- ① 山川中学校、山瀬小学校、高越小学校
- ② アッパー・マルボロ(US メリーランド州)
- ③ アニメーション
- ④ 絵画







事務局だより

2023年度吉野川市国際交流協会役員

- 会長 瀬尾規子 
- 副会長 萩森健治、細谷裕重
三原敦子
- 監事 乾喜美子、荃田智恵
- 事務局 吉野川市教育委員会生涯学習課
- 会員数 64人・5団体（2024年1月現在）

専門部の活動

- ◎支援部（担当：萩森健治副会長） 
- 日本語教室の開催
 - 日本語サロンの開催
 - 学校での日本語学習支援
 - 市内滞在あるいは訪問外国人への通訳支援
 - 各種講習会への参加
- ◎広報部（担当：細谷裕重副会長） 
- 「国際交流よしのがわ」第20号の発行
 - YIA会員だよりの発行
 - YIAホームページ
- ◎交流部（担当：瀬尾規子会長） 
- 国際理解講座の開催
 - 地域国際交流の支援
 - 在住外国人との交流事業
 - ホームステイ・ホームビジットの受け入れ
 - 阿波踊りへの参加
 - 国際交流バスツアー
 - 日本文化を紹介する講座
- ◎会計（担当：三原敦子副会長） 
- 会計の管理
 - 会計（会費・補助金）

2023年度の主な活動

- [2023年]
- 3月 ● 日本語教室花見（3/26 江川鴨島公園）
 - 4月 ● 総会準備（資料作成、会計監査）総会資料発送
● たけのこ狩り（4/30 市原さん宅の竹林）
 - 5月 ● YIA総会（5/14 文化研修センター）
● 鴨島公民館生涯学習講座（5/22 演題：地域に根ざした30年YIAの活動紹介 講師：萩森）
● 鴨島ライオンズクラブと日本語教室との交流（5/28）
● セブ茶会（7/9 文化研修センター）
 - 7月 ● 瀬尾会長の講演会（7/14 鴨島東中学校・多文化共生社会について）
● 吉野川市日本語スピーチコンテスト（7/16 山川公民館）
● グローバルセミナー（7/29 文化研修センター）
● 徳島県日本語弁論大会に日本語教室受講生3人出場（7/23 あわぎんホール）
 - 8月 ● ポケットパークフェスに出店（8/6）
● 川島高校・サマーチャレンジ（8/17）
● 阿波踊り（8/16 鴨島駅前中央通り）
● 阿波踊り（8/20 鴨島駅前イベント広場）
 - 9月 ● ブドウ狩り（9/3 山川ブドウ園）
● 俳句・書道ワークショップ（9/17 鴨島公民館）
● グローバルセミナー（9/30 文化研修センター）
 - 10月 ● 浴衣・着物着付け体験会（10/8 文化研修センター）
● 遊墨アート展で「俳句・書道」作品展示（10/20～10/22 鴨島公民館）
 - 11月 ● バスツアー（11/19 奈良公園・東大寺）
● 自転車で巡る吉野川市の日本遺産（11/26）
● グローバルセミナー（11/25 文化研修センター）
 - 12月 ● アジアン・フード・フェスティバル・ランタンに出店（12/16 鴨島駅前イベント広場）
- [2024年]
- 1月 ● もちつき大会（1/14 西麻植青年会館）
 - 2月 ● 国際理解講座（2/24 ベトナム報告 講師：萩森）
● 山川日本語教室クッキング交流会（2/25 山川公民館）
 - 3月 ● グローバルセミナー（3/24 文化研修センター）
● 機関誌「国際交流よしのがわ」第20号発行
- ◎定例理事会 毎月末に計12回開催
◎日本語教室（毎週日曜日、鴨島：午後、山川：午前）

日本語教室ボランティアスタッフ募集

毎週日曜日の日本語教室にボランティアとしてお手伝いをしていただける方を募集しています。見学も大歓迎です。日本語で異文化交流をしませんか？

会員募集

吉野川市国際交流協会では、新しく会員になってくださる方々をお待ちしています。外国語が話せなくても興味のある方はどなたでも随時入会できます。事務局にお気軽にお尋ねください。

- 年会費：個人 2,000円、団体 5,000円（入会随時）
事務局：吉野川市教育委員会生涯学習課
TEL (0883) 22-2271、FAX (0883) 22-2270
e-mail: s-gakushuu@yoshinogawa.i-tokushima.jp



吉野川市日本語スピーチコンテスト

◆ 編集後記 ◆

2023年は、コロナが収束し、4年ぶりに日常がもどってきました。在住外国人の数も100人増え、多文化共生社会が身近になってきました。2024年度も地域の皆様とつながら国際交流を目指して活動していきたいと思ひます。
(瀬尾規子)